

令和7年4月吉日

加盟団体代表者各位

東京都合気道連盟
理事長 井阪有一

新理事長就任のご挨拶

去る4月19日東京都合気道連盟第41回評議員会において新理事長に就任いたしました井阪有一と申します。よろしく願いいたします。

世代交代との言葉がありますが、交代というものは突然おこるものではなく、ひとつの大きなつながりの中で続いていく道のようなものだと考えております。そういう意味で、守るべきものは守り、世の流れにより変わるべきは丁寧に変えていくべきなのだろうと思っています。退任された前職の先生方も引き続き連盟の活動を支えていただけるということで、これからもご助言をいただけるのはありがたいことだと感じております。

理事長になるにあたり、どういったことをテーマに運営していこうかということを考えました。1つ目としては、事に臨んでは「覚悟」をもっていくということ、170余の団体を代表するというのでこの言葉を自分に問うことにいたしました。もう1つは「合気道倫理憲章」にもありますが「真心」という言葉。なかなか倫理規定等に「真心」という表現はないように思いますが、これはかつて朝稽古で道主がよくお話されていたお言葉だなどの思いに至り、これを2つ目としました。

昨年、連盟の中でいろいろなことがあったと理事会で伺いました。そのなかであらためて考えましたのは、合気道に興味をもって、あるいはより研鑽したいということで稽古にきてくださる会員みなさんにひとりひとりにおもいがあり、そのひとつひとつに思いを致し、それを紡いで道場はあるというということでした。そのときに思い浮かんだのが「真心」という言葉でありました。

最後になりますが、まだまだ諸先輩に比べれば若輩の身、いろいろな方にお話しを伺いながらよりよい連盟運営に努めていければと考えております。またみなさまのご助力なくしては連盟の運営は成り立ちませんので、これからも引き続き支えていただけますようよろしく願いを申し上げます。そういう意味では理事長の役割の本質は、みなさまに願いをするということなのかもしれません。

敬具